

2007 年度

科目名	対象学科・学年 文学部 全学科1回生 教育教福1回生	担当者 岡崎 裕子 船本 淑恵
生涯発達論		
授業テーマ 生涯にわたる発達のみちすじを知り、発達を支えるものとは何かを考える		
授業の概要と目標 少子・高齢社会を迎え、教育や福祉においては幼児期や児童期といった特定の発達期を学ぶだけでなく、生涯を通じての発達を学ぶことが重要になってきています。発達を長い期間でとらえた時にこそ、子ども時代に必要なが見えてくるでしょう。また、成長・発達は、その個人だけでなく、家族や社会とのかかわりのなかでとらえる必要もあります。 そこで、本授業では乳幼児期から老年期にいたる生涯発達のみちすじや、各発達期に包含される意味、発達と社会との関係を学びます。その学習をととして、人間の尊厳についても考えていきたいと思います。 講義は、主として教育・心理学的（岡崎）、社会福祉学的（船本）の2つの立場からアプローチします。		
評価方法 学年末試験、出席、必要に応じて課す小レポートによる総合評価		
テキスト	著者	出版社
参考書 授業の中で随時紹介します。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1 オリエンテーション 2 発達と教育 3 発達段階と発達課題（1） 4 発達段階と発達課題（2） 4 発達段階と発達課題（3） 5 発達段階と発達課題（4） 6 発達段階と発達課題（5） 7 高齢期について（1） 8 高齢期について（2） 9 発達と障害 10 発達と障害 11 個人の発達と家族環境 12 個人の発達と社会環境（1） 13 個人の発達と社会環境（2） 14 発達と教育 15 総括		